

磐城時報

日刊 廿夕
編輯者 岡田 弘成
印刷所 磐城時報印刷部
發行所 磐城時報社
電話 一四三三
郵便 第一四三三
代金 一月一元二角 三月三元五角 半年六元 一年十二元
廣告料 一行十四字 一日五角 五日二元 一月十元 三月三十元 半年六十元 一年一百元
訂金 前納
休刊 日曜日 祭日 休刊

平町金庫問題で 七十七常磐の暗躍

町長は七十七にする意響 来る町會に波瀾起らん

平町では昭和八年度から町金庫争が起り同日中には纏まりをう
て七十七銀行平支店に指定し町もなほ模様である。因に石城郡
役場には毎日銀行員出張して内町金庫を銀行に指定してお
金納一切の業務に従事し町は従来なかつたが小名濱町
入役は金納の取扱ひをなさざるでは過般町會で議決し四月一日
様制度を改むる計劃をたて幹旋の新年度から七十七銀行平支店
者をして銀行當局と交渉中である指定する事になり目下本店と
るが町會議員の意響では町金庫契約中である。

好問校増築申請

石城郡好問村では十八日村會を開
て町會常務銀行系統の人々は町
金庫を常磐銀行支店に指定せし
むべく奔走中であるといふから
二十五日の町會に青沼町長は右
提案をなす筈であるといはれて
るけれども指定銀行問題で論議
中である。

第四小學校の敷地 一萬五千坪を買収

期成同盟會との妥協案 二十五日地主に交渉

平町では二十五日豫算町會を招
集する事既報の通りであるが、
論議されてゐた第四小學校新築
案は町財政逼迫の現状に鑑みて
立案された第三小學校増築案破
れ漸く平澤南の佃町大の畑一
半平、百澤易與外十四氏に對し

て買収の交渉を開始する事にな
つたが、買収費坪二圓平均總額
七万五千圓程度に止め契約成立
の曉は一坪五十錢の手附金を手
交して十一年度に正式に譲渡を
受ける事になつた。

巨救事業費 増額運動

濱三郡羅漢村に對する巨救事
業費割當増額縣工事を状況によ
り罹災地巨救のための部落請負
漁船、漁具修理費復舊の補助増
額及び災害地復舊低利資金増額
等陳情のため青沼石城、志賀
葉、今野相馬、郡町村支會長、
諸橋石城、石川、葉郡農會會長
福島縣水産副會長等二十一日出
縣井上、野崎、赤坂、太田等の
縣議共々赤木知事を訪れ懇々陳
情するところあつた。

丸上炭礦の坑夫が 健康保険異議申立

近く審査會を開く 被保險者成行を注目

本縣警察部健康保険課ではさき
に被保險者石城郡赤井村丸上炭
礦々夫奈良金五郎(四一)が保
給に關する傷病手当處分不服給
付に關する健康保険審査會にの
を本縣第一次健康保険審査會に
申立てたので真相を調査しその
手續をなすつたが、愈々
月末日から來月初めに同課に於
て第一次健康保険審査會を開催
判決を下すことになつた。右金
五郎は昨年五月二日地方の保
險醫に氣管支喘息所謂炭礦病よ
ろけの診断を受け約三ヶ月も勞
働を休んで治療を受けたので保
險に勞務不能による手当を請
求したので同課では健康保険の診
断に基き三回に亘つて手當一日
村の二萬三千圓を筆頭に約六萬
圓の金が炭礦地町村へ轉がり込
べきであること主張するに至つた

教育費問題で 湯本、内郷の悩み

鑛産税移譲と同時に 會社側で負擔金を拒絶か

常磐炭礦地方町村が渴望してゐ
た鑛産税半額地方委託は愈三月
一日納期の七年度後分から實施
されることになり、石城郡内郷
村の二萬三千圓を筆頭に約六萬
圓の金が炭礦地町村へ轉がり込
べきであること主張するに至つた

新興の小名濱町で 町議候補亂立か

話題に上る人々 早くも定員を十名超過

石城郡小名濱町では町會議員改
選の下馬評が盛んになつて來た
が、話題の人は左記三十余名に
上り定員を十名も超過し激戦を
豫想されてゐる。

人夫が不足で 夏井川工事遅る

恵まれる夏井、草野村民 新川端に 櫻樹植付

石城郡下最大の巨救事業である
工費十萬圓の縣營夏井川改修工
事は昨秋着工以來毎日労働者多
數を便役し夏井村上下兩大越右
岸草野村澤帶附近左岸兩地域の
護岸工事を急いでゐるが、現在
までの工程僅かに三萬五千圓で
人夫不足から此のまゝで行くと
年度内に殘額六萬五千圓の豫定
工事遂行が困難であると修理事
務所では目下猫の手でもほしが
つてゐる。同夏井川改修工事に
兩村からの出役人夫は千餘名
宛で十日毎の給料は六千圓を越
へ、尚ほ人夫の不足を來してゐ
る有様で五日乃至一週間毎に交
替し辛じて仕事にありついで
他町村に比較し夏井、草野兩
村は非常に恵まれてゐる。

植田信用總會

植田信用組合では二十八日午前十時
から小學校で總會を開催八年
度豫算並に事業計劃につき附議
する。

觀梅團募集

水戸運輸

和洋銅鐵金物問屋

釜屋商店

諸橋久太郎

電話九九九番

磐城名物...糯米製

北海屋製菓部

電話三八八番

平町字二丁目

廿日より五日間二割引發賣致しますから
何卒多少に不拘御用命下さる様御願ひ致
します。

●滋養豊富・味覺佳良ですから御病人の御見舞に最適
●價格低廉・萬人の御口に適しますから一般家庭の御贈
●客用に最適品。

式儀用

折詰生造

平町一丁目

お惣菜用
さつま揚

吉原揚

電話一四一番

看護婦派生の需めに應じます

平看護婦會

會長 清野キヨ

平町字南町 電話三〇七番

強壯殺菌劑
精力増進劑

糖衣ニンニグ丸

十四日分 二四〇〇
二八日分 二四〇〇

平町

山野邊藥局

東北六縣
總發賣元

消費節約

品質本位

家庭染料

みやぶ染

平町一丁目

特約店 大平や藥店

電話四六二番

病室完備

専門 X光線科

上田外科醫院

電話一二九番

平町南町

外科 花柳病科 專門

平町六丁目橋際

木村外科醫院

電話三〇九番

專科 腸胃

專科 皮膚病

院醫科

【番七〇一話電】

藤沼醫院

電話五〇七番

上田外科醫院

電話一二九番

木村病院

電話一六四番

大藏省允許

無盡

共行未栄

世界の名湯國立療養所の所在地

別府の天然家庭温泉

命の洗濯

一、温まる事は天然温泉と變りありません
一、萬病に實驗的効果のある天下の別府温泉を日常家庭で
湯治の出来る重寶な家庭温泉
一、從來の浴劑を斷然優越せる新發見劑
一、石鹼の使用は出来る、白粉の伸を良くす、皮膚を美化
する理想的浴劑

疲勞回復 健康増進の鍵

病魔征服 傳染病豫防の武器

眞の温泉療法は―若菜の三四月から―夏に於て最有効な時
期です、是非御試用願ひます。

六回分(二日使用) 十二日分) 五十錢
十四回分(同) 廿八日分) 一圓
三十四回分(同) 二ヶ月八日分) 二圓

平町四丁目

命の洗濯代理店 小野屋藥舖

電話一四四番

磐城共濟會

印刷物は...加納活版所へ

◎診療時刻午前八時より午後九時迄
但急患は此の限りに非ず

内科	醫學博士 石山謙
小兒科	醫學博士 佐久間粹郎
外科	醫學博士 桂重
外科耳鼻咽喉科	醫學士 有馬勇二
喉科皮膚科	醫學士 五十嵐雄
産婦人科	醫學士 佐久間粹郎
X光線科	醫學博士 石山謙
衛生試驗所	技師 高石山
藥局	藥劑士 吉本孝

院長 醫學博士 石山謙

自宅電話一二四番